

内視鏡的胆管ドレナージの最前線

5.14. 土 13:00-13:50

国立京都国際会館 1階 さくら (第2会場)

Session1

悪性胆道閉塞に対する経乳頭的ドレナージのコツ

Session2

EUS下胆道ドレナージのコツとトラブルシューティング



司会

伊佐山 浩通 先生

順天堂大学医学部附属順天堂医院
消化器内科 教授



演者 (Session1)

井上 匡央 先生

愛知医科大学
肝胆膵内科 講師



演者 (Session2)

岩下 拓司 先生

岐阜大学医学部附属病院
第一内科 講師

ABSTRACT

悪性胆道閉塞に対する 経乳頭的ドレナージのコツ

悪性胆道閉塞に対するドレナージの基本はERCPによる経乳頭的アプローチであり、多くの御施設で第一選択のドレナージ法として行われているかと存じます。しかし、最適なステント選択や留置方法など、その治療戦略にはいまだ確立されていない点も残されています。本セミナーでは、悪性胆道閉塞に対する経乳頭的ドレナージの現況を踏まえながら、そのコツや将来展望に関して概説させていただきます。

井上 匡央

EUS下胆道ドレナージのコツと トラブルシューティング

EUS下胆管ドレナージは、胆道病変に対するERCP関連処置不成例におけるsalvage方法として一般臨床においても広がりつつあります。しかし、依然として標準的な方法はなく、専用の処置具も乏しいのが現状です。本セミナーでは、EUS下胆管ドレナージをより安全・確実に運用するために、そのコツとトラブルシューティングをEUS下胆管ドレナージの現況も踏まえながら概説します。皆様の今後の診療に少しでもお役に立てればと考えています。

岩下 拓司

富士フイルムヘルスケア株式会社は
大胆な発想と果敢な挑戦により、
新たな価値を創出し、
医療の進化に貢献します。

<https://www.fujifilm.com/fhc/ja#>



公式ウェブサイト